

マユタテアカネ

Sympetrum eroticum eroticum



< 生物の写真 >

上の写真は未成熟個体

< 環境写真 >

分類群	魚類	貝類・甲殻類		爬虫類・両生類		昆虫類			
種の特性	絶滅危惧種	危急種		希少種		外来種		指標種	
分布地域 (農政局単位)	北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	沖縄

【分布】

北海道、本州、四国、九州に分布する。離島では利尻島、粟島、佐渡島、淡路島、隠岐、壱岐、対馬五島列島、天草諸島、甌島列島、種子島、屋久島、口永良部島、トカラ列島の中之島などにも分布する。

【名前の由来】

和名は前額にある2つの黒斑が眉のようであることに由来し、眉を書きたてた茜色のトンボの意味である。

【形態的な特徴】

体長 35mm（腹長 23～29mm、後翅長 24～31mm）ほどで、雌雄ほぼ同じ大きさ。前額に眉状斑のある、細身で小型のアカトンボ。未成熟個体は、雌雄とも橙色の地色に黒色の条斑があるが、成熟すると雄は腹部が鮮やかな赤色になる。雌は成熟しても腹部背面が橙褐色になる程度であるが、雄のように赤化するものもいる。翅は透明で無斑であるが、雌には翅端に褐色斑が出る個体もいる。よく似た種にヒメアカネ、マイコアカネがいる。

幼虫は体長 14～16mm（頭幅 4.5～5mm）ほどで、体色が淡褐色から褐色地に複雑な濃色斑のあるヤゴ。

【生態的な特徴】

成虫はおもに6月から11月頃に見られる。幼虫はおもに夜間、[挺水植物](#)の茎や葉裏、水面から突きだした杭などに[定位](#)して羽化する。未成熟個体は羽化水域から少し離れた林に移動し、薄暗い林床の草むらなど低い位置で生活する。成熟すると水辺に戻り、雄は水際の植物などに止まって縄張りを張る。雌をみつけて交尾をすると、雌雄は連結したまま水際に移動して、[打泥産卵](#)あるいは[打水産卵](#)をする。卵はそのまま冬を越し、翌春に孵化する。

【生息環境】

おもに平地から低山地の、[挺水植物](#)が繁茂する池沼や湿地、湿原、水田、溝川などの止水域に生息する。林縁の木陰やうっぺいした場所など、やや薄暗い環境を好む傾向がある。幼虫は水底の植物性沈積物の陰や柔らかい泥の上にうずくまっている生活している。

【生息状況】

周辺に薄暗い林のある水田地域では、かつて普通に見られたが、近年安定した流れや冬に水が確保された環境が少なく、生息場所が減少している。

【生態系保全のための留意点】

林縁などの少し薄暗い所を好み、平地の開けた水田地域ではあまり見られない。本種生息のためには林地と水田、湿地などの水辺が近接して存在することが必要である。